

ボランティア活動にご協力を!

隊友会裾野支部の会員は現在70名であり、平均年齢は68.5歳です。ボランティア活動に参加していただいている方は75歳以下の会員にお願いしていることから、ボランティア活動に支障が出ています。お仕事優先ですが若い会員の活動参加を是非お願いします。

# 隊友会 裾野

## 隊友会 裾野支部

隊友会裾野支部は、自衛隊退職者の親睦と相互扶助を図るとともに、市民と自衛隊のかけ橋として活動しています。



### 隊友会 裾野支部 顧問 大串 晉

新年明けましておめでとうございます。

隊友会裾野支部会員並びにご家族の皆様には健やかで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、約三十年に亘る「平成時代」から五月一日に「令和元年」となり、新しい天皇が即位され、新しい「令和時代」の幕開けとなりました。今や世界は「分断と格差の深まる社会」へと変貌し、環境問題・地球の温暖化による自然災害の多発、更には外国との外交・防衛・経済社会等利害の衝突・確執が国の存亡に大きく影響し国の舵取りが難しい時代になり「文明転換期」を迎えています。本年(二〇二〇年)「令和二年」を迎え裾野市にとって喜ばしいニュースが飛び込んできました。トヨタ自動車(株)が「多様なモノやサービスがインターネットで繋がる実証都市を裾野に建設する」と発表しました。着工予定は来年初頭とということです。近未来都市の先取りが裾野市から始まり、裾野市の大いなる活性化と発展に寄与するものと期待しています。さて、いよいよ本年東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。隊友会は昨年ボランティアとして自転車ロードレースのテストイベントに協力・支援をしましたが本年が本番です。会員皆様の協力・支援を宜しくお願い申し上げます。現在九十八代の安倍内閣総理大臣は第四次内閣で歴代最長の政権となり自らの手で「憲法改正」の悲願を達成したいとの意欲がひしひしと感じとられます。隊友会も引き続き協力・支援をしていきたいと思っております。最後に、隊友会裾野支部の益々の発展と会員並びにご家族皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

### 隊友会 裾野支部長 明和 秀三

新年明けましておめでとうございます。

隊友会会員並びにご家族の皆様には希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。隊友会裾野支部は、昨年裾野市の恒例行事を支援協力すると共に、研修会を市民の方々の参加も得て航空自衛隊静浜基地、焼津防災センターなどを研修したほか、ポウリング大会・パターゴルフ大会・懇親会などの開催により会員相互の親睦を深めることができました。今年度は東京二〇二〇オリンピック・パラリンピックの年で、自転車ロードレースにおけるボランティア、深良用水通水三百五十周年記念イベント支援など、国民・市民をあげての行事を成功させるためぜひともご支援いただきたいと思っております。また、大災害発生時における行政に対する支援の在り方も検討していきたいと考えていますのでよろしく申し上げます。本年も会員並びにご家族皆様方のご健勝ご多幸を祈念申し上げます。新年の挨拶と致します。

### 裾野市議会議員 内藤 法子 隊友会 裾野支部 相談役

新しい年の幕開けです。「自衛隊と市民のかけ橋」として日頃からご尽力いただいている隊友会会員の皆様から心からお慶び申し上げます。本年は待ちに待ったオリンピック・パラリンピック開催の年です。加えて裾野市では、市政施行五十周年、自衛隊協力会五十周年、深良用水通水三十五周年等、記念行事が目白押しになっていきます。隊友会の皆様にはこれらの行事が心に残る各種大会となるよう成功に向け一丸となってボランティアとして支えて下さる姿を拝見する機会が多いと期待し、楽しみにしています。これまでの活動でも皆様の姿に対する感謝で裾野市民の心に有形無形の足跡を残している事を誇りに思っています。最後に、トヨタ自動車(株)のコネクティッド・シティ構想が発表され、世界をアッと驚かせる歴史的転換が始まっています。この流れは私たちの暮らしにも大きな好影響を与えてくれるものと期待するところです。隊友会の皆様と共に今年も健康で洗練とした活動が出来ますよう祈念いたします。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

### 令和二年 主要行事

- 二月十五日(土) 裾野市自衛隊協力会創立五十周年記念行事
- 三月上旬 自衛隊入隊予定者激励会(市役所)
- 四月上旬 駒門・滝ヶ原駐屯地創立記念行事
- 四月二十五日(土) 隊友会裾野支部総会
- 五月十六日(土) 深良用水通水三百五十周年記念行事支援
- 五月三十一日(日) 五竜みどり祭り支援
- 五月二十四日(日) 板妻駐屯地創立記念行事
- 六月中旬 裾野支部研修会(場所未定)
- 七月二十五・六日(土・日) 富士総合火力演習
- 八月一日(土) オリリンピック自転車ロードレース支援
- 八月一日(土) 裾野市夏祭り支援
- 九月五日 裾野市阿波おどり大会支援
- 十月 フェスタ裾野支援
- 十二月下旬 駒門駐屯地年末行事

隊友会裾野支部新年会を開催

隊友会裾野支部の新年会が一月十八日、和風レストラン「みよし」で開催されました。来賓には細野・吉川両衆議院議員はじめ現職自衛官では内田駒門駐屯地司令、横山国際活動教育隊長、古賀駐屯地業務隊長、福田最先任上級曹長、第三十四普通科連隊長代理で加藤第三中隊長、中島三島集事務所長と谷川広報官が、裾野市からは高村市長、鳥澤県議会議員、小林市議会議員、志村自衛隊協力会会長、観光協会から土屋副会長の御臨席をいただき会員二十二名がこれに参加しました。挨拶では、支部長が昨年の事業の振り返りと今年のオリンピック・パラリンピックへのボランティア参加及び深良用水通水三百五十周年記念事業への支援のほか災害発生時における行政などへの支援の在り方について検討していくとの説明がありました。来賓の挨拶では内田駒門駐屯地司令から隊友会の日頃の支援への感謝の言葉があり、高村市長からはトヨタ自動車(株)のスマートシティ構想発表に伴う市の対応などについて、また、細野吉川両国会議員からは自衛隊OBの援護施策の充実について努力していくとの強い決意がありました。その後、鳥沢県議会議員(裾野支部相談役)の音頭により祝杯を挙げ開宴となりました。



(新年会参加者のにこやかな顔)

新春ボウリング大会を実施

買頭、昨年十二月着任された横山国際活動教育隊長より着任挨拶があり、今回で三回目となる駒門勤務において活躍を期待するものです。宴の中で新春ボウリング大会の表彰式が行われたほか、森下新入会員の自己紹介、中島三島集事務所長から本会場「みよし」経営者のお孫さんが女性自衛官に合格されたことなどが紹介されました。今年も最高齢の津原・井上会員(共に八十九歳)が元氣な姿を見せて頂きました。和やかな雰囲気の中で行われた宴の最後は大串顧問の一本締で会を締めくくり終演となりました。

隊友会裾野支部恒例の新春ボウリング大会が一月十八日に岩波ボウラーで開催されました。今回は昨年より参加者が少なく新入会員の森下会員など十二名の参加による二ゲームの総合得点によりハンディなしで優勝を争いました。結果は、安達事務局局長が最高得点一九五点たたき出すなど二位の福士会員に一四〇点以上の差をつけて優勝しました。(参加者からどこで練習したんだらうとの声も聞かれました)第三位には新入会員の森下会員が入り、新年会で表彰されました。ボウリングは年齢に関係なく楽しめるスポーツですので、今回参加されなかった会員の方も次回は是非参加してみてください。



(ボウリングを楽しむ会員)

国民保護協同訓練に参加

裾野支部は、十二月十八日に小山町の富士スピードウェイにおいて実施された静岡県国民保護協同訓練に支部長以下十名の会員が参加した。この訓練は県が実施する国民保護法に基づく初めての訓練であり、今年実施される東京オリンピック・パラリンピック自転車ロードレースのゴールである富士スピードウェイの観客席でテロ事件が発生したという想定で実施され、観客役としてテロ発生場所から一時避難場所への移動、その後、避難所における行動を実施した。今年オリンピックのボランティア支援に参加する会員にもテロに限らず不測の事態に対処するためのマニュアルのようなものを作成する必要性を感じた有意義な訓練であった。



(観客として避難する御殿場支部会員)

着任部隊長の紹介



国際活動教育隊長  
横山裕之1等陸佐

- 神奈川県出身 防大91期
- 平成4年 第11普通科連隊
- 11年 第31普通科連隊
- 15年 西方普通科連隊中隊長
- 17年 イラク復興業務支援隊
- 20年 国教隊 共通教育課長
- 22年 スーダン防衛駐在官
- 24年 国教隊 研究課長
- 25年 ジブチ海賊対処航空隊
- 28年 部隊訓練評価隊副隊長
- 29年 第32普通科連隊長
- 令和元年 12月 現職

新入会員の紹介

森下兼太郎  
出身 高知県  
入隊 昭和六十年(普通科)  
主要部隊歴  
第二十八普通科連隊(函館)  
第十五普通科連隊(普通科)  
部隊訓練評価隊(北富士)  
第三陸曹教育隊  
趣味 バイク、アウトドア  
住所 裾野市呼子三丁目七一  
電話 九九七-三六九〇

フェスタ裾野を支援  
内山健会長が激励

裾野市民のふれあいイベント「フェスタ裾野」が十月十九・二十日に市民文化センターにおいて開催され、会員十五名が来場者の誘導・整理で支援しました。このイベントは市内の企業や商店などが製品や商品を展示販売するとともに、地域活性化のための各種施策を紹介するもので多彩な催しが盛り上げられました。当日は板妻駐屯地で実施された自衛官殉職者追悼式に参加された静岡県隊友会の内山会長が商工会館で車両誘導にあたった藤森会員を激励されました。裾野支部の活動状況を確認され、県内支部の活動の見本として理解をいただくことができました。



(県隊友会長から激励を受ける藤森会員)

駒門駐屯地に白・杵を寄贈

裾野市災害ボランティアコーディネーターの会(以下VCという)の副会長をして明和支部長は、一月八日に同会の羽切会員と共に駒門駐屯地機甲教導連隊を訪れ、白と杵を寄贈した。これは支部長が、同連隊の年末行事である餅つきに参加した際、白と杵が不足していることを知ってVCの会に話をしたところ、羽切会員から使っていない白と杵を寄贈する申し出があったもので、連隊長から昨年三月に新編された中隊が保有していない為、大変有り難いとの感謝の言葉があった。自衛隊と市民のかけ橋としてこのような情報をお待ちしています。



(白と杵を寄贈した支部長と羽切さん)